



快適な住環境の整備の 太陽光発電施設の設置について

小林 修(令和研究会)



問 現在、再生エネルギーの推進のため導入コストが比較的低く、導入のポテンシャルの高い太陽光パネルによる太陽光発電施設が民間事業者により市内各所に設置され、土地利用されている。災害リスクや生態系への影響がなく、また、景観阻害、住環境悪化及び貯留機能低下等による雨水流出を防止し、良好な生活環境の保全に寄与しながら進めることが大事であるため、発電施設の設置や維持管理を含めた、適切に管理するための実効力のある条例の制定は。

答 条例を制定する場合、抑制区域であるとか、制限をする地区を設けることが多く、現段階では、自然災害や景観など、市として、どうしても規制しなくてはならない場所を特定するのが難しい。市内において発電施設が増加傾向にある状況に鑑み、まずはガイドラインの整備を進めていきたい。

【その他の主な質問】

○農業経営の安定化について
○安心安全の確保について

特殊詐欺対策 / はにわの館



岩崎 彰(蒼倫維新)



市全体で防犯意識を持ち抑止力を高め電話による特殊詐欺を未然に防ぐ為に、行田市の被害の現状と対応策を訊く。

問 特殊詐欺対策機器の購入補助金の利用実績について。

答 令和7年1月末時点で、76件63万4千円の申請受付。2機種を交付の対象とし、全申請者が着信時に警告音を発し自動的に通話内容を録音する機種を選択している。

問 平均補助金額はいくらか。

答 1件平均8千3百円。

問 令和7年度も申込みめるか。

答 議会でも7年度予算の議決後、補助金の申請ができる。

「はにわの館」の価値を再認識し、はにわ作りを通し古墳公園への集客に繋げる為に。

問 はにわの館の魅力は何か。

答 常時はにわ作り体験が出来る施設は全国的に珍しい。

問 古墳や埴輪に関連する取組をする伊勢崎市・本庄市等との連携により自治体相互の誘客に取組む考えはあるか。

答 相互に誘客することは大変有効と考えている。連携について模索をしていきたい。

民間企業との災害時応援協定の 連携強化を図る考えはあるか

村田 清治(令和研究会)



問 現在、災害時応援協定を締結している民間企業が83社あるが、災害時応援協定を締結して終わりではなく、災害を想定して訓練を実施することが有る際に役立つと思うがどう考えているか。

答 現在、民間企業との災害時応援協定の拡充に努めており、本年度は10件の災害時応援協定を締結し、様々な分野にわたる民間事業者の方にご協力いただきながら、協定締結の推進を図っているところである。

また、民間企業との連携を図るため、昨年、6月25日には、行田市防災協議会及び行田市水道工事協同組合とのメールによる情報伝達訓練、本年1月31日には、市内社会福祉施設との福祉避難所の開設訓練など、事業者との訓練を実施している。

【その他の主な質問】

○県が発表したドローン等による集団防除について。
○病害虫防除協議会を設置する考えはあるか。